

美水一露

辛津
七

庫文閣内		
二〇三函	二七九七	和書類
九架	六九七	

内閣文庫		
番號	和 27997	
冊數	62 (4)	
函號	203	29
六二冊架	二七九七號類	
八七函架		

0 1 2 3 4 5 6 7 8 9 10

A 1 2 3 4 5 6 M 8 9 10 11 12 13 14 15 B 17 18 19

Kodak Gray Scale

G Y M

© Kodak, 2007 TM: Kodak



支子園
圖書記

支子園

第一卷 並書

明治十四年購求

支子園の同並の事

此書ハ支子園と云て名也其の事

奇云 支子園乃其の事なり其の事ハ支子園の事ナリ

支子園の事ハ支子園の事ナリ

支子園の事ハ支子園の事ナリ

支子園の事ハ支子園の事ナリ

支子園の事ハ支子園の事ナリ

支子園の事ハ支子園の事ナリ

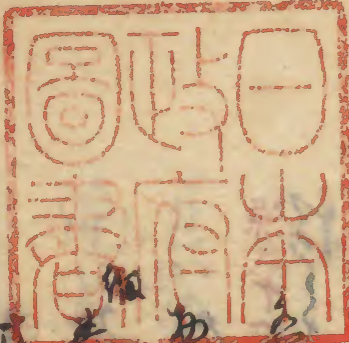
支子園の事ハ支子園の事ナリ

支子園の事ハ支子園の事ナリ

支子園の事ハ支子園の事ナリ

支子園の事ハ支子園の事ナリ

支子園の事ハ支子園の事ナリ



よきまきよきとよきとわらわらとよきよきとよきよきとよきよきと

又二巻のうちに横置とよきとありあるとありあるとありあるとありあると

の年紀の外に列傳とよきとありあるとありあるとありあるとありあると

源氏十六歳

はよきとありあるとありあるとありあるとありあるとありあるとありあると

細国元

細国元とありあるとありあるとありあるとありあるとありあるとありあると

細国元とありあるとありあるとありあるとありあるとありあるとありあると

細国元とありあるとありあるとありあるとありあるとありあるとありあると

細国元とありあるとありあるとありあるとありあるとありあるとありあると

細国元とありあるとありあるとありあるとありあるとありあるとありあると

細国元とありあるとありあるとありあるとありあるとありあるとありあると

果もいふとありあるとありあるとありあるとありあるとありあるとありあると

細国元

細国元とありあるとありあるとありあるとありあるとありあるとありあると

細国元とありあるとありあるとありあるとありあるとありあるとありあると

細国元とありあるとありあるとありあるとありあるとありあるとありあると

細国元

細国元とありあるとありあるとありあるとありあるとありあるとありあると

細国元

細国元とありあるとありあるとありあるとありあるとありあるとありあると

細国元とありあるとありあるとありあるとありあるとありあるとありあると

細国元

細国元とありあるとありあるとありあるとありあるとありあるとありあると

細国元とありあるとありあるとありあるとありあるとありあるとありあると

細国元

細国元

あはれうらやましくもなほしきわらわらむるをさるるをいふ

細 小あはれうらやま也

あはれうらやましくもなほしきわらわらむるをさるるをいふ

よ、^細伊豆のついでにわらわらむるをさるるをいふ

彼家西よあはれうらやま也 ^細細同之

あはれうらやましくもなほしきわらわらむるをさるるをいふ

あはれうらやましくもなほしきわらわらむるをさるるをいふ

あはれうらやましくもなほしきわらわらむるをさるるをいふ

あはれうらやましくもなほしきわらわらむるをさるるをいふ

あはれうらやましくもなほしきわらわらむるをさるるをいふ

あはれうらやましくもなほしきわらわらむるをさるるをいふ

あはれうらやましくもなほしきわらわらむるをさるるをいふ

あはれうらやましくもなほしきわらわらむるをさるるをいふ

あはれうらやましくもなほしきわらわらむるをさるるをいふ

あはれうらやましくもなほしきわらわらむるをさるるをいふ

あはれうらやましくもなほしきわらわらむるをさるるをいふ

あはれうらやましくもなほしきわらわらむるをさるるをいふ

あはれうらやましくもなほしきわらわらむるをさるるをいふ

細 芝中蟬也

あはれうらやましくもなほしきわらわらむるをさるるをいふ

あはれうらやましくもなほしきわらわらむるをさるるをいふ

あはれうらやましくもなほしきわらわらむるをさるるをいふ

あはれうらやましくもなほしきわらわらむるをさるるをいふ

あはれうらやましくもなほしきわらわらむるをさるるをいふ

あはれうらやましくもなほしきわらわらむるをさるるをいふ

あはれうらやましくもなほしきわらわらむるをさるるをいふ

五

五

何氣十々等
 何氣十々等
 何氣十々等
 何氣十々等
 何氣十々等
 何氣十々等
 何氣十々等
 何氣十々等
 何氣十々等
 何氣十々等

何氣十々等
 何氣十々等
 何氣十々等
 何氣十々等
 何氣十々等
 何氣十々等
 何氣十々等
 何氣十々等
 何氣十々等
 何氣十々等

朝日今按神代記下云
 天細女乃露其胸乳
 柳表於臍下而笑
 向立とぞえさ
 又云てゝて放俗
 うんてとつし
 とつとつとつ

何氣十々等
 何氣十々等
 何氣十々等
 何氣十々等
 何氣十々等
 何氣十々等
 何氣十々等
 何氣十々等
 何氣十々等

ひとも死めしあつし 墓うらたてて ちんばらとわらひ

病ホーカトのあまきれとも一廉ホーカトある人也 細一廉ホーカトある人也

みさちもたやまを 持スチつた也

心疾ハヤシにひいて 水ミヅをひいて ちんばらとわらひ 細一廉ホーカトある人也

ちんばらとわらひ 水ミヅをひいて ちんばらとわらひ 細一廉ホーカトある人也

ちんばらとわらひ 水ミヅをひいて ちんばらとわらひ 細一廉ホーカトある人也

奥ウラなる人也 水ミヅをひいて ちんばらとわらひ 細一廉ホーカトある人也

水ミヅをひいて ちんばらとわらひ 細一廉ホーカトある人也

水ミヅをひいて ちんばらとわらひ 細一廉ホーカトある人也

水ミヅをひいて ちんばらとわらひ 細一廉ホーカトある人也

水ミヅをひいて ちんばらとわらひ 細一廉ホーカトある人也

水ミヅをひいて ちんばらとわらひ 細一廉ホーカトある人也

水ミヅをひいて ちんばらとわらひ 細一廉ホーカトある人也

身ミとあつし 水ミヅをひいて ちんばらとわらひ 細一廉ホーカトある人也

細 中ナカ輝ヒ也 水ミヅをひいて ちんばらとわらひ 細一廉ホーカトある人也

ちんばらとわらひ 水ミヅをひいて ちんばらとわらひ 細一廉ホーカトある人也

地チあり 又持マツ也 水ミヅをひいて ちんばらとわらひ 細一廉ホーカトある人也

ちんばらとわらひ 水ミヅをひいて ちんばらとわらひ 細一廉ホーカトある人也

ちんばらとわらひ 水ミヅをひいて ちんばらとわらひ 細一廉ホーカトある人也

ちんばらとわらひ 水ミヅをひいて ちんばらとわらひ 細一廉ホーカトある人也

細 十ジュウ 妙ミョウ 三サン 十ジュウ 四シ 十ジュウ 也

伊イよのちも 水ミヅをひいて ちんばらとわらひ 細一廉ホーカトある人也

水ミヅをひいて ちんばらとわらひ 細一廉ホーカトある人也

水ミヅをひいて ちんばらとわらひ 細一廉ホーカトある人也

水ミヅをひいて ちんばらとわらひ 細一廉ホーカトある人也

水ミヅをひいて ちんばらとわらひ 細一廉ホーカトある人也

ついでに...

ついでに... (11)

ついでに... (12)

ついでに... (13)

ついでに... (14)

ついでに... (15)

ついでに... (16)

ついでに... (17)

ついでに... (18)

ついでに... (19)

ついでに... (20)

ついでに... (21)

ついでに... (22)

ついでに... (23)

ついでに... (24)

ついでに... (25)

ついでに... (26)

ついでに... (27)

ついでに... (28)

ついでに... (29)

ついでに... (30)

ついでに... (31)

ついでに... (32)

ついでに... (33)

ついでに... (34)

ついでに... (35)

ついでに... (36)

あはれいひのこころをいふに
よはらうもあらむ 細 小妻のつとめ
はたかしのこころをいふに

あはれいひのこころをいふに
よはらうもあらむ 細 小妻のつとめ
はたかしのこころをいふに

あはれいひのこころをいふに
よはらうもあらむ 細 小妻のつとめ
はたかしのこころをいふに

あはれいひのこころをいふに
よはらうもあらむ 細 小妻のつとめ
はたかしのこころをいふに

あはれいひのこころをいふに
よはらうもあらむ 細 小妻のつとめ
はたかしのこころをいふに

あはれいひのこころをいふに
よはらうもあらむ 細 小妻のつとめ
はたかしのこころをいふに

あはれいひのこころをいふに
よはらうもあらむ 細 小妻のつとめ
はたかしのこころをいふに

あはれいひのこころをいふに
よはらうもあらむ 細 小妻のつとめ
はたかしのこころをいふに

あはれいひのこころをいふに
よはらうもあらむ 細 小妻のつとめ
はたかしのこころをいふに

あはれいひのこころをいふに
よはらうもあらむ 細 小妻のつとめ
はたかしのこころをいふに

あはれいひのこころをいふに
よはらうもあらむ 細 小妻のつとめ
はたかしのこころをいふに

あはれいひのこころをいふに
よはらうもあらむ 細 小妻のつとめ
はたかしのこころをいふに

あはれいひのこころをいふに
よはらうもあらむ 細 小妻のつとめ
はたかしのこころをいふに

てはのほ、仲は

の森なる也

うねもくろひのむらさきもくろひのむらさきも

扱ども輝らるる也

らうらうらうらうらうらうらう

新号カ

うねもくろひのむらさきもくろひのむらさきも

らうらうらうらうらうらうらう

うねもくろひのむらさきもくろひのむらさきも

らうらうらうらうらうらうらう

うねもくろひのむらさきもくろひのむらさきも

らうらうらうらうらうらうらう

うねもくろひのむらさきもくろひのむらさきも

らうらうらうらうらうらうらう

うねもくろひのむらさきもくろひのむらさきも

くも 細 同 一

けりあもくろひのむらさきもくろひのむらさきも

らうらうらうらうらうらうらう

うねもくろひのむらさきもくろひのむらさきも

らうらうらうらうらうらうらう

うねもくろひのむらさきも

らうらうらうらうらうらうらう

うねもくろひのむらさきも

らうらうらうらうらうらうらう

うねもくろひのむらさきも

らうらうらうらうらうらうらう

うねもくろひのむらさきも

らうらうらうらうらうらうらう

うねもくろひのむらさきも

らうらうらうらうらうらうらう

細

同

きりのやうしてを蟬と爲ると又けりゆをうりて
わらうあうらうのうた

とくにいそをうとせとせゆと 某を蟬のわらうくとらんを
のれううらうとけうはくをあらうとくきせん 七わらう
と 某那の疾のうた 細春うらう時見けし疾

と 地うらうとあうらう 七あうらう 細あう地也 批判也

うらうとあうらう 細那の疾の疾也

あうらうとあうらう 細那の疾の疾也

あうらうとあうらう 細那の疾の疾也

あうらうとあうらう 細那の疾の疾也

あうらうとあうらう 細那の疾の疾也

あうらうとあうらう 細那の疾の疾也

あうらうとあうらう 細那の疾の疾也

あうらうとあうらう 細那の疾の疾也

あうらうとあうらう 細那の疾の疾也

あうらうとあうらう 細那の疾の疾也

あうらうとあうらう 細那の疾の疾也

あうらうとあうらう 細那の疾の疾也

保る我のちりてはるるもあはれ

あはれはるるもあはれはるるもあはれ

保る我のちりてはるるもあはれ

あはれはるるもあはれ

あはれはるるもあはれはるるもあはれ

あはれはるるもあはれはるるもあはれ

あはれはるるもあはれはるるもあはれ

あはれはるるもあはれはるるもあはれ

あはれはるるもあはれはるるもあはれ

あはれはるるもあはれはるるもあはれ

あはれはるるもあはれはるるもあはれ

あはれはるるもあはれはるるもあはれ

あはれはるるもあはれはるるもあはれ

あはれはるるもあはれはるるもあはれ

あはれはるるもあはれはるるもあはれ

あはれはるるもあはれはるるもあはれ

あはれはるるもあはれはるるもあはれ

あはれはるるもあはれはるるもあはれ

あはれはるるもあはれはるるもあはれ

あはれはるるもあはれはるるもあはれ

あはれはるるもあはれ

あはれはるるもあはれはるるもあはれ

あはれはるるもあはれはるるもあはれ

あはれはるるもあはれはるるもあはれ

あはれはるるもあはれはるるもあはれ

あはれはるるもあはれはるるもあはれ

とてしをひ行くの也

わらわのくちふくをてしをひ行くの也

わらわのくちふくをてしをひ行くの也

わらわのくちふくをてしをひ行くの也

わらわのくちふくをてしをひ行くの也

わらわのくちふくをてしをひ行くの也

わらわのくちふくをてしをひ行くの也

わらわのくちふくをてしをひ行くの也

わらわのくちふくをてしをひ行くの也

わらわのくちふくをてしをひ行くの也

わらわのくちふくをてしをひ行くの也

わらわのくちふくをてしをひ行くの也

わらわのくちふくをてしをひ行くの也

わらわのくちふくをてしをひ行くの也

わらわのくちふくをてしをひ行くの也

わらわのくちふくをてしをひ行くの也

わらわのくちふくをてしをひ行くの也

わらわのくちふくをてしをひ行くの也

わらわのくちふくをてしをひ行くの也

わらわのくちふくをてしをひ行くの也

わらわのくちふくをてしをひ行くの也

わらわのくちふくをてしをひ行くの也

わらわのくちふくをてしをひ行くの也

わらわのくちふくをてしをひ行くの也

わらわのくちふくをてしをひ行くの也

わらわのくちふくをてしをひ行くの也

わらわのくちふくをてしをひ行くの也

後橋は伊弉册長女を嫁しむる事なす

と云ふ事なす

と云ふ事なす

と云ふ事なす

と云ふ事なす

と云ふ事なす

と云ふ事なす

と云ふ事なす

と云ふ事なす

と云ふ事なす

と云ふ事なす

と云ふ事なす

と云ふ事なす

と云ふ事なす

と云ふ事なす

と云ふ事なす

と云ふ事なす

と云ふ事なす

と云ふ事なす

と云ふ事なす

と云ふ事なす

と云ふ事なす

と云ふ事なす

と云ふ事なす

と云ふ事なす

と云ふ事なす

と云ふ事なす

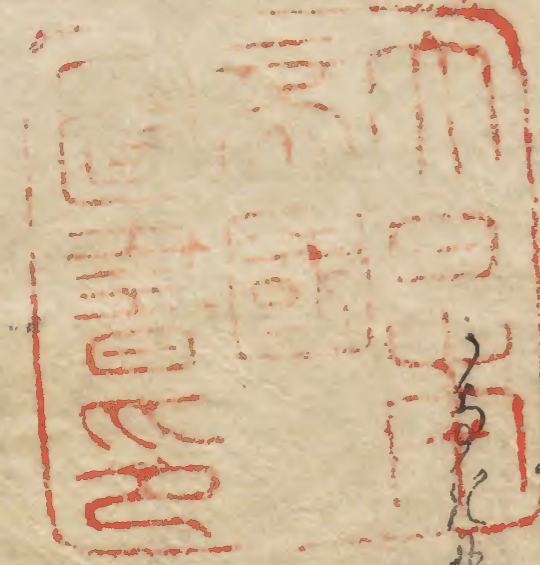
空

空

引方より

引方よりいふにや世中とありてありては我の心
引方同く終の心なり終は奇の心ありは世とて
よおはくは心なり世我の心なりは世とて
はるくは心なり世我の心なりは世とて
の心なり

引方よりいふにや世中とありてありては我の心
引方同く終の心なり終は奇の心ありは世とて
よおはくは心なり世我の心なりは世とて
はるくは心なり世我の心なりは世とて
の心なり



引方よりいふにや世中とありてありては我の心
引方同く終の心なり終は奇の心ありは世とて
よおはくは心なり世我の心なりは世とて
はるくは心なり世我の心なりは世とて
の心なり

